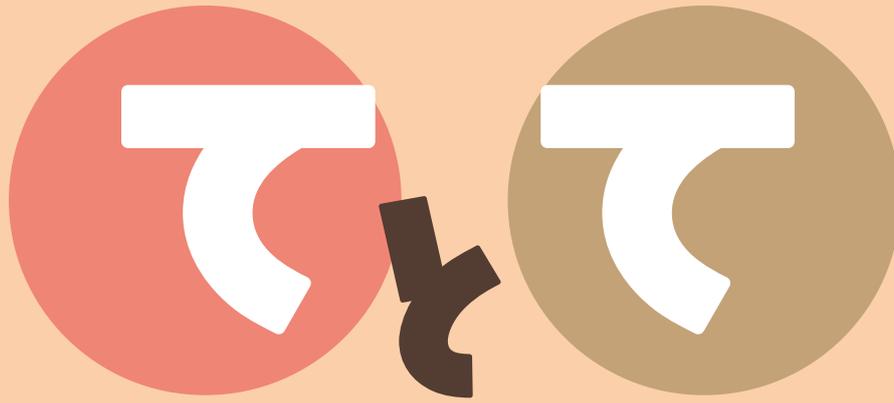


ひょうごの子育てを応援する



vol.11
2018-②

公益社団法人 兵庫県保育協会

特集
幼児期の
発達の魅力



幼児期の発達の魅力

テストで図れる力を認知的な力、思いやりや粘り強さなど
点数化できない力を非認知的能力といいます。

幼児期は、非認知能力の育成に適していて、
子どもたちの自己肯定感や自己効力感が育まれやすい時期でもあります。

大人も一緒に幼児期ならではの発達の魅力を楽しみ、
子どもが自由に自分らしさを発揮できる環境を作ってあげましょう。

成長・発達を伸ばす環境

7月にマレーシアで開催された環太平洋乳幼児教育学会に参加しました。この学会は、世界に3つある大きな保育学関係の国際学会の一つです。今年の大会の基調講演やシンポジウムでは、「子どもの主体的な遊び」「好きな(自由)遊びを中心とした保育」こそが、乳幼児期に保障したい大切な経験であることが報告されていました。

なるべくインフォーマルな環境、つまり、かたくなに、自分が自由に発揮できる雰囲気や環境が大切です。子どものストレスも少なく、子ども自身が自分で考えて、決めて、行動する。自分が好きだ!すごい!と思える。そういった経験は、幼児期の発達に適したものです。

“幼児期らしさ”の魅力

幼児期の発達の特徴は、きわめてユニークです。例えば、2歳の子どもは、「イヤイヤ」「ダメダメ」「自分(〇〇ちゃん)が」「自分で」とよく発言します。この時期は、背も低いし、視野も狭く、自分中心的です。相手からはどう見えるか、相手の気持ちはどうか、他の人と比べてどうか、といったことよりも、自分中心なのです。「みてみてみて」といった言葉をよく使い、「すごいやう」「かわいいやう」「いいのができた」等の肯定語も多く使います。「自分が好き」「自分はすごい」「自分はやればできる」といった自己肯定感や自己効力感がはぐくみやすい時期でもあります。

つい、保護者の方々は責任感から、子どもの教育について「ねばならない」「まだ…できない」といった焦りを感じる傾向がありますが、是非とも、この時期らしさを知っていただき、その「魅力」を意識して、「まだ…できない」(結果)のみにこだわらず、子どもと関わってほしいと願っています。

点数化できない力

漢字を10個覚えたとか、計算が解けるとか、こういったテストで図れる力を認知的な力といいます。一方で、自分のことが好きなことや、思いやり、粘り強さなどは、点数化できません。こういった力を非認知的能力といいます。幼児期は、認知的な能力の育成(結果)よりも、非認知的な能力の育成(プロセス)に適した時期です。

これからの教育は、足らない部分つまり苦手部分を明らかにして克服するような学びではなく、自分の好きなこと、得意なことを知り伸ばすことが大切になると考えます。幼児期の発達の特徴としては、与えられた内容を指示された手順通りにこなすことよりも、子ども自身が「おもしろそう」「なんでだろう?」「やってみよう」と好奇心、探求心、憧れを抱いた内容こそが、実際の学びの成果にもつながって

いるということが明らかにされています。それを踏まえて、幼児期の教育では、教科書を使いません。手順どおりに大人等が決めた内容を、「できたの?」「わかったの?」と不足部分ばかりに目をやる必要がありません。

幼児期の教育では「あゆみ」もありません。保育者の先生方はもちろん到達度を把握されていますが、しかし、産まれてからの時間が短く、個人差が大きく、自己中心性が強いこの時期には、それを保護者や子どもたちに相対評価(他者との比較)で比べて開示する必要はないのです。

思いやりにあふれた子どもたちと楽しい関わりを

日本の子どもたちの語彙を調査したことがあります。結果、2歳の子どもの8割以上が「〇〇ねー」と語尾に「ね」という言葉を使っていることが分かりました。これは、「楽しいね」「おいしいね」「うれしいね」など、同じ気持ちを持った時に使う言葉です。いわゆる共感を表す言葉を使う子どもたちは、他者への思いやりの行動を持つことができ、また、見返りを求めずに、他者に役立つことや、「ありがとう」「えらいね」などと、感謝されたり、褒められたりすることが好きです。これらを踏まえて楽しく子どもと関わりたいものです。

専門分野

乳幼児教育学、保育学、保育領域の専門性

学歴

1993年 神戸大学教育学部幼児教育科卒業
1995年 ミネソタ大学特別研究員
1998年 広島大学大学院教育学研究科博士課程後期
幼児学専攻、単位取得満期退学
2001年 博士(教育学)、広島大学論文博士

職歴

広島国際大学、福岡教育大学を経て、現在、
神戸大学大学院人間発達環境学研究科人間発達専攻
准教授

役職

環太平洋乳幼児教育学会理事(2004~現在)
日本乳幼児教育学会理事(2015~現在)
日本保育学会理事(2016~現在)
日本保育ソーシャルワーク学会常任理事(2013~現在)
国立教育政策研究所幼児教育研究センター所外研究員(2015~現在)
全国保育士会キャリアアップ検討特別委員会委員長(2015~2017.3)
兵庫県保育協会理事(2016~現在)
大阪市社会教育委員(2016~現在)
Economist Intelligence Unit (2012), Starting Well.
Benchmarking early education across the world.
A report from the Economist Intelligence Unit. 調査協力者(2012)
UNICEF Innocenti Research Center Report Card 8.
拡大諮問委員(2007.2~2008.12)

主著書: 「育てたい子どもの姿とこれからの保育」(2018)ぎょうせい(共著)、「保育原理」(2018)ミネルヴァ書房(共著)
「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」(2018)東洋館(共著)、「保育原理」(2017)中央法規(共編著)
「教育と福祉の課題」(2017)晃洋書房(共著)、「手がるに園内研修メイキング」(2017)わかば社(共著)
「認定こども園の時代」(2016)ひかりのくに(共著)、「保育原理」(2015)中央法規(共編著)
「保育課程論」北大路書房(2011)(編著)、「遊び・生活・学びを培う教育保育の方法と技術」(2009)(共編著)

北野 幸子
(きたの さちこ)



みんなで
スマイル
vol.11

SMILE

生き生き働く保育者パート4

今回も、vol.10に引き続き保育者にスポットを当て、
子どもたちの純粋な優しさや笑顔に心惹かれ、
癒されながら共に成長する保育者の姿を紹介します。



“ 保育者Voice!
やりがいのある楽しい毎日! ”

私は、「大きくなったら保育園の先生になりたい!」と小さな頃からずっと夢を描いていました。それは、ピアノを弾くことや先生に読んでもらう絵本が大好きだったからです。また、小さな子どもたちと関わると自然に笑顔になり、いつも元気の出るパワーをもらうことができたからです。

保育士になり、今までたくさんの子どもたちに出会ってきました。思いやりのある優しい子、あきらめずに最後まで頑張る子、発見や驚きに目を輝かせる子…みんな違ってそれぞれすてきなところを持っています。一人ひとりを理解して、認めながら過ごすことを意識し、成長を喜び、日々の教育・保育にやりがいを感じています。これからも子どもたちに寄り添い、一緒にたくさんのことにチャレンジをして、共に成長していきたいと思っています。

●豊岡市
静修保育園
主任保育士
池口 静香さん
保育者年数・10年



いっぱい
掘れたよ!

絵本だいすき♪



“ 保育者Voice!
保護者への
メッセージ ”

中学生になり、産まれた妹を世話するうち、保育者になりたいと強く思いました。保育者となった今、子どもの成長を近くで感じ、何かを達成したうれしそうな笑顔を見ると、私自身も笑顔になりとても楽しいです。

短大でいろいろと学んだときの、「保護者対応だけは実習ではできないよ」との先生の言葉。現場に入ると、苦手意識から必要な連絡事項だけを伝えていました。ある研修で保護者の方から、「どんな小さなエピソードでも話して貰えるとうれしい」と伺い、子どもたちのかわいいエピソードの一つでも多く伝えようと努めました。そうするとすごくうれしそうに聞いて下さり、お話しして下さいようになりました。これから一人ひとりの子どもと丁寧に関わることで信頼関係を築き、笑顔と思いやりで保護者へのメッセージを伝えていきたいと思っています。

●明石市
明光保育園

保育士
秋田 みさきさん
保育者年数・1年目

いっぱい
集めたね!



ぎこばこ、
ぽっ!



かっこいい
船だね!



●福崎町
サルビアこども園

保育教諭
深田 真衣さん
保育者年数・7年



“ 子どものパワーで、
笑顔がいっぱい! ”

私が保育士になりたいと思ったきっかけは、保育園の頃にした鼓笛隊での達成感や、先生と一緒に遊んだり優しくしてもらったりしたことが印象的で「私もこんな先生になりたい!」と思ったからです。

子どもと一緒に過ごしていると、園庭に咲いた小さな花や、風が吹く心地良さなど、今までは気に掛けることもなかった小さなことに感動します。子どもの何気ないつぶやきに心がぽかぽか温かくなり、気付けば私が元気をもらっていることもあります。毎日の保育に楽しさもたくさんありますが、上手くいくことばかりではなく落ち込むこともあります。そんなとき、子どものかわいい笑顔は心から癒される瞬間であり、辛いこともしんどいことも吹き飛ばしてくれます。毎日少しずつ成長する子どもたちのように、私もいろんなことに挑戦し一緒に成長していきたいと思っています。



オクラ
大きいね!

保育者Voice!

保育者レポート

笑顔 み~つけたっ!

保育所・認定こども園での
子どもたちの様子を
紹介します。

「お散歩大好き」

やはすやま

矢筈山へLet's Go!!

「今日はどこへいくの?」子どもたちの目が輝き笑顔になる瞬間です。杉林の山道を元気いっぱい登って行くと小川にかかる一本橋。「みんな気を付けて」「押したらあかんで～」と慎重に渡ります。その後は冷たい水に足をつけて…

西脇市の自然が、好奇心や探求心を育ててくれます。たくさんの枝や葉を付ける杉の木のようにぐんぐん大きくなってね。



西脇市/かすがこども園

おっと橋だよ!
気を付けて～

かわいい花 み~つけたっ!

雨上がりの散歩道、雨露キラキラ輝く紫陽花がとてもきれいで、子どもたちは足を止め、花や葉っぱの感触を味わい、大喜びです。「あれー!葉っぱの上に何かいるよ」おんぶしたカタツムリの親子を発見し、大興奮の子どもたち。そして、遠くで聞こえるカエルの声に合わせるようにカエルの歌を歌いながら散歩を楽しみました。

きれいね!



たつの市/まことこども園

発見がいっぱい、不思議がいっぱい

5月、近くの公園でタンポポの綿毛を見つけました。写真は3歳児の女の子2人が1本の綿毛を「一緒にね」と吹き合っているところです。保育園に帰ると、タンポポに興味を持った子どもたちは絵本や図鑑を取り出し見つけたことや不思議に思うことを話し合っていました。小さな発見から成長していく子どもたち。それを見逃さないようにしたいですね。

せーのっ!
ふ～!



尼崎市/みどり野保育園

この花、何て名前かな?

子どもたちと近くの公園を楽しむための地図作りをしています。散歩で見つけた花や虫、草・木の葉など、いつ、どこで見つけたのか地図の中に書き込んで1年後には子どもたちの発見が詰まった保育園独自の地図ができあがる予定です。

この取り組みを始めたことでおなじみのアリやダンゴムシ以外にも目を向け、知らないモノを見つけるとうれしそうに調べられるようになりました。



伊丹市/伊丹ひまわり保育園

あっ!!これちゃう?
にてる!!

お散歩 ♪ ワクワク!!

「電車!」「お花きれいね～」とキラキラした笑顔で教えてくれる子どもたち。無限に広がる世界に子どもたちの瞳はキラキラ。駅前の保育園なのでいろんな人との出会いがあります。

「おはよう!」「ばいばーい」と挨拶したり「かわいいね～」と話し掛けられることもあります。こうした関わりが社会性を培い、豊かな心を育てていくのだと思います。



加古川市/加古川ひまわり保育園

みんなできいっしょに
いちに!いちに!

今日は何が見つかるかな?

散歩では年長児が1・2歳児の手を引き、小さい子の歩調に合わせて歩いてくれます。道端に咲く小さな花を見つけたり春にはタンポポの綿毛を飛ばしたり、石垣にくっついているカタツムリを観察したり、畑の野菜を見て「僕らの野菜もあんなに大きくなるかな?」と期待に胸を膨らませたりと、その日その日で違った発見を楽しんでいます。



淡路市/釜口保育所

カタツムリ
いっぱい
あったでー

おさんぽ、おさんぽ うれしいな♪

入園当初はたどたどしかった足りも、今はこんなにしっかりと歩いてお散歩ができるようになりました。お気に入りの公園の石畳を仲良しのお友だちと手をつないでトコトコ歩く1歳児さん。顔を見合わせて「たのしいね!」ってお話する声が聞こえてくるような、そんなかわいい1枚が撮れました。



宍粟市/山崎聖旨保育園

たのしいね～!

ヨモギを摘んでクッキング!

異年齢でお散歩に行きながら、いろいろな体験をしています。4月は、3・4・5歳児がお散歩で摘んだヨモギで、お団子を作りました。

この日は、ヨモギを摘んだことなかった3歳児も、「葉っぱの裏が白いのがヨモギだよ」と教えてもらい、一生懸命探しました。見つけたときのうれしそうな顔は、とっても可愛かったです。



養父市/宿南こども園

ほらっ
ヨモギ
摘んだよ～!

かわいいお花でしょ

初春、近くの草むらにお散歩に出掛けました。子どもたちは草むらがとっても大好き。いろんな草花や虫たちを見つけて大喜び。タンポポやシロツメ草は、冠や腕飾り、指飾りに早変わり!さっそく、身に着けてオシャレを楽しみます。その後、オシャレの終わった桜ちゃんが、「お母さんにあげるの」と可愛いオレンジの花束を見せてくれました。



高砂市/聖パウロこども園

お母さんに
あげるの

スズメノテッポウ み~つけたっ!

ある日、5歳児の男の子が「おじいちゃんにスズメノテッポウを作ってもらった」と言って草笛を持って来ました。自分で作ってみたいという思いから、草笛になる草はないかな?とあちこちに出かけ散策するのが大好きになりました。ピ～♪ピ～♪という笛の音と楽しそうな子どもの笑い声が野原に響いていました。



朝来市/大蔵こども園

ピ～って
鳴るかな♪

トトロみた～いっ!!

園舎を一步飛び出すと、周りは丹波の自然たっぷり。毎日が発見の連続です。

あぜ道に自生しているフキを見つけて「これ知っとなで!トトロが使うやつやる!?」「雨降っても、こうしたらぬれへんねん」と目を輝かせながら笑顔の会話ははずみます。そこにある自然が子どもたちにとっては大切な宝物。たくさん触れて、見て、感じて大きくな～れ!



丹波市/丹波市立柏原西保育所

いれて～!

いいよ～!

子どもたちに人気のメニュー

かわいくて子どもたちに大人気♪

ぎゅうひのおばけちゃん



もちもち♡
ハロウィン



■材料(12~15個分)

★ぎゅうひ

もち粉…100g

水…180cc

★砂糖…30g

片栗粉…適量

☆あん

南瓜…300g

☆砂糖…50g

○顔

┌ 食紅・赤(ホッペ)…適量

○ チョコレート(目・口)…適量

└ アポロチョコレート

…46g入り1パック

■作り方

①南瓜をゆでてつぶし、砂糖を加えて加熱し、あんを作る。

②耐熱容器に★を入れて混ぜ、レンジで1分半加熱し、へらで混ぜさらに1分半加熱する。

③ざらつきがなければ、片栗粉をたっぷり広げた上にぎゅうひをのせてめん棒で伸ばす。

④直径7cmの丸型のぎゅうひで南瓜あんを覆い、下部をヒラヒラに整える。

⑤湯煎したチョコレートで目と口を描き、ホッペを食紅で染めてアポロチョコをのせたら出来上がり。

◎提供:小野市/みやま保育園

素材が生きるシンプルレシピ

メロンパン風クッキー



■材料(10枚分)

ホットケーキミックス…200g

卵…1個

砂糖…大さじ1、小さじ2

牛乳…小さじ1

サラダ油…大さじ3、小さじ1

グラニュー糖…3g

バニラエッセンス…1~2滴

■作り方

①卵を溶いて砂糖と牛乳を加えて混ぜ、

そこへサラダ油を少量ずつ加えながらさらに混ぜる。

②ホットケーキミックスとバニラエッセンスを加え、粉っぽさがなくなるまで混ぜる。

③生地を10等分に丸め、ナイフ等で格子状に切れ目を入れる。

④グラニュー糖をふりかける。

⑤180℃に予熱したオーブンで8~10分焼いたら出来上がり。

◎提供:芦屋市/芦屋こぼと保育園

ふんわり
しっとり!!

みんな大好き! みんなで遊ぼう! 手作りおもちゃ

「おべんとうグッズ ~ママごとあそび 楽しいね!~」

毎月1回のお弁当日を楽しみにしている子どもたち。2歳児が「おにぎり」の絵本を見た後、「おにぎりおいしそう」「からあげも大好き」「ブロッコリーも…」とお花紙や色紙を使ってお弁当作りをしました。

みんなで作ったおかずなどを使ってママごと遊びが楽しめるように、保育士がダンボールでフライパンや机を作りました。

この手作りお弁当グッズで、他のクラスの子どもたちともわくわくタイムの時間にママごと遊びを楽しみました。

◎提供:丹波市/丹波市立柏原保育所



[vol.11] 2018-② 2018年10月20日発行
発行:公益社団法人 兵庫県保育協会 啓発広報委員会
兵庫県神戸市中央区坂口通2丁目1番1号 兵庫県福祉センター内
TEL078-242-4623 FAX078-242-1399
メール hokyo@fancy.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.hyogo-hoikukyokai.or.jp/>

保育協会ホームページと、
これまでの「てとて」はこちら
からご覧いただけます。

